

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

平成31年度行政事業レビューシート (文部科学省)									
事業名	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金に必要な経費			担当部局庁	研究開発局			作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課			宇宙開発利用課長 藤吉 尚之	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第18条 第1項			関係する 計画、通知等	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第4期中長期計画 宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定) 等				
主要政策・施策	宇宙開発利用			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構において、大学との共同等による宇宙科学に関する学術研究、宇宙科学技術に関する基礎研究及び宇宙に関する基礎的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、追跡及び運用並びにこれらに関連する業務を、総合的かつ計画的に行うとともに、航空に関する先進技術及び基礎技術の研究開発並びにこれらに関連する業務を総合的に行うことにより、大学等における学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上並びに宇宙の開発及び利用の促進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	関係府省と緊密に連携しながら、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構において以下の施策を推進する。 ・宇宙空間へのアクセスを可能とする手段として、自立的な宇宙活動の根幹である「宇宙輸送システム」 ・社会的ニーズの高い災害対応に資する衛星の研究開発等を推進するとともに、新たな利用の創出を図る「衛星による宇宙利用」 ・我が国の特徴を活かした独創的かつ先端的な研究を推進するとともに、未知のフロンティアである宇宙の探査に挑戦する「宇宙科学・宇宙探査」 ・国際宇宙ステーション(ISS)/日本実験棟「きぼう」を利用した「宇宙環境利用の推進」 ・民間では保有困難な大型・高性能の風洞等の試験設備を整備・維持・運用・供用し、先進的・基盤的な研究開発を実施する「航空科学技術」 ・ロケットや衛星に係る信頼性向上や宇宙航空科学技術に係る基礎・基盤的な研究開発を実施する「基礎・基盤的な研究開発」								
実施方法	交付								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求		
		補正予算	105,343	111,286	113,061	115,923	149,581		
		前年度から繰越し	13,162	11,810	17,632.6				
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
		計	118,505	123,096	130,693.6	115,923	149,581		
	執行額	118,505	123,096	130,694					
	執行率(%)	100%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	100%	100%	100%						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費	115,923	149,581	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある 「新しい日本のための優先課題推進枠」55,534百万円					
	計	115,923	149,581						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 33年度	目標最終年度 36年度
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	-	-	-
		注1:「地球観測衛星の開発に必要な経費」及び「国際宇宙ステーション開発に必要な経費」による実績も一部含まれる。	目標値	%	100	100	100	100	100
		注2:平成30年度の成果実績は評価確定後に記載	達成度	%	100	100	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の平成30年度における業務の実績に関する評価」より								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標		目標最終年度	
								33年度	36年度	33年度	36年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	<宇宙科学・宇宙探査> 宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の研究開発、運用を通じた成果を創出する。	過去10年間における高被引用論文(※)数 ※クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベースである、Essential Science Indicatorsでは、科学全体を大きく22の研究分野に分類しており、それぞれの分野において被引用数が上位1%の論文を高被引用論文(Highly Cited Papers)と定義している。	成果実績	編	57	56	56	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベース「Essential Science Indicators」より。										
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	<宇宙輸送システム> 基幹ロケットの打上げ成功数。		活動実績	件	5	6	4	-	-		
			当初見込み	件	5	6	4	3	7		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	<宇宙科学・宇宙探査> 宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の研究開発、運用による実績(査読付き論文数)。		活動実績	編	345	323	427	-	-		
			当初見込み	-	-	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	<航空科学技術> 当初見込み:年度当初のプロジェクト数(計画も含む) 活動実績:年度当初の実施計画以上の実績を上げたプロジェクト数		活動実績	件	4	4	3	-	-		
			当初見込み	件	4	4	3	3	2		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	<基礎・基盤的な研究開発> 開発を完了したコンポーネント数		活動実績	件	0	0	2	-	-		
			当初見込み	件	0	0	1	1	1		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	<衛星による宇宙利用> 地球観測データ蓄積量(※) ※過去3年間の差分の平均を前年実績値に上乘せし、当初見込みに設定している。		活動実績	TB	5,203	4,674	6,596	-	-		
			当初見込み	TB	3,886.5	6,444	5,212	7,293	7,293		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込			
	※国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構が行う基礎研究及び基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、運用等を総合的に実施するうえで必要な交付金のため、単位当たりコストの算出は困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-			
			計算式	/	-	-	-	-			

	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応							
	施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進							
測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	利用ニーズを踏まえた衛星システムの開発・運用	宇宙基本計画に基づき、利用ニーズを踏まえた衛星システムの開発・運用を行う。災害対策、地球規模の環境問題の解決等に貢献する宇宙技術の研究開発を継続し、衛星利用を一層促進する。また、研究開発の成果を最大限活動し、より広く社会・経済へ還元する。	毎年度	<p>―</p> <p>施策の進捗状況(実績)</p> <p>平成28年度 ・先進レーダ衛星(ALOS-4)の開発に着手。 ・4月の熊本地震において、ALOS-2による観測データを地震予知連絡会や地震調査委員会等の防災機関へタイムリーに提供し、地震活動の評価に貢献。 ・8月の台風10号(東北東部豪雨)において、ALOS-2による緊急観測を実施し、防災ヘリの調査ルート立案に貢献。</p> <p>平成29年度 ・気候変動観測衛星「しきさい」(GCOM-C)及び超低高度衛星技術試験基(SLATS)を打ち上げ。 ・10月の霧島連山(新燃岳)噴火を受けてALOS-2による緊急観測を実施し、火口内溶岩ドームの拡大・流出等の状況把握に貢献。 ・GOSATの観測データによる大都市等の人為起源二酸化炭素濃度の推定結果を公表し、衛星観測による二酸化炭素排出量の監視・検証技術を実証。</p> <p>平成30年度 ・温室効果ガス観測技術衛星「いぶき2号」(GOSAT-2)及び革新的衛星技術実証1号機を打ち上げ。 ・7月豪雨において、緊急観測を複数回実施し、関係機関へ速やかに結果を提供することで、土砂災害の発生状況の把握に貢献。 ・12月にインドネシアで発生した津波を受け、ALOS-2による緊急観測を実施し、火山予知連絡会に報告。解析結果をインドネシア防災機関等に提供し、現地での被害状況把握などに貢献。</p>					
測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
	H-II A及びH-II Bロケットの各年度ごとの打ち上げ成功率	実績値	%	100	100	100	-	-	
	※目標年度は毎年度とする	目標値	%	100	100	100	-	100	
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
新型基幹ロケットH3の開発	我が国の自立的な打ち上げ能力の拡大及び打ち上げサービスの国際競争力の強化に資するべく、令和2年度の初号機の打ち上げを目指し、開発を着実に推進する。	毎年度	<p>―</p> <p>施策の進捗状況(実績)</p> <p>平成28年度 ・基本設計を完了。 ・ロケット機体や固体ロケットブースター、第1段・第2段エンジン等の各部の詳細設計へ移行。 ・実機型ターボポンプ単体試験の第一シリーズを完了。 ・LE-9実機型燃焼試験やLE-5B-3認定試験等の開発試験に着手。</p> <p>平成29年度 ・総合システム(ロケット、地上施設整備、打上げ安全管理)の詳細設計を完了し、製作・試験フェーズへ移行。 ・開発試験(LE-9実機型燃焼試験、LE-5B-3認定試験等)を実施し、特にLE-9エンジンについては本開発初のフルスケール燃焼試験において100%の推力レベルを達成し、意図した機能・性能の実現性を確認するための有効なデータを取得。</p> <p>平成30年度 ・H3ロケットの第1段・第2段エンジン及び固体ロケットブースターの試験等を実施。 ・試験機初号機の実機製作に着手。</p>						

定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
固体ロケットシステムの維持・発展	小型衛星の打ち上げに柔軟かつ効率的に対応できる、低コストかつ革新的な運用性を有するイプシロンロケットの研究開発及び打ち上げを宇宙基本計画に基づき行う。	毎年度	-					
			施策の進捗状況(実績)					
			平成28年度 ・打ち上げ能力の向上及び衛星包絡域の拡大のための高度化開発を行ったイプシロンロケット2号機(強化型)を12月に打ち上げ。 ・イプシロンロケットにおいて複数衛星を打ち上げるためのシステムについて基本設計を完了。 平成29年度 ・イプシロンロケット3号機を打ち上げ、低衝撃型衛星分離機構等を飛行実証。 ・強化型イプシロンロケットとしての開発を完了。 ・H3ロケットとのシナジー効果を発揮しつつ、国際競争力の強化を目指したイプシロンロケットのミッション要求とシナジー対応開発計画を設定。 平成30年度 ・イプシロンロケット4号機を打ち上げ、イプシロンロケットとしては初めて複数衛星の太陽同期軌道への同時打ち上げに成功。					
定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 31 年度	
JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績(累計)		実績値	件	6	6	7	-	-
※ISS参加国はISS運用にかかる共通のシステム運用経費を分担している。我が国はISSへの物資輸送により分担責任を果たしており、関係諸国との国際調整の状況を踏まえ、目標値を設定。		目標値	件	-	-	7	-	8
定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
文部科学省及びJAXAが主催するアジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)の参加国及び地域数(累計)		実績値	件	45	46	49	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	

政策評価	政策評価、新経済・財政再生計画との関係	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)			
			国際的な協調を踏まえた、日本実験棟「きぼう」等の運用の進捗状況				毎年度	施策の進捗状況(実績)	
<p>有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術をはじめとする広範な技術の高度化の促進及び国際協力の推進を目的として、日本実験棟「きぼう」における宇宙空間利用技術の実証と運用及び宇宙飛行士の搭乗を安全・確実に実施するとともに、将来無人・有人宇宙活動を行う上で必要となる技術、知見の蓄積を進める。</p>				<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇宙ステーション補給機「こうのとり」6号機(HTV6)により、日本製のリチウムイオン電池を使用した新型のISS/バッテリー等を輸送。 日本の大学の人材育成機能・超小型衛星開発能力とJAXAの「きぼう」からの超小型衛星放出能力を組み合わせ、アジア諸国が求める協力を実施。東北大・北大と共同開発したフィリピン初の国産超小型衛星を「きぼう」から放出した他、日本の中小企業による超小型衛星(FREEDOM)など計54機の超小型衛星を放出。 「きぼう」を利用したタンバク質結晶生成実験の頻度向上、温度環境の拡張等を進め、「きぼう」の有効利用を推進した。 <p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業ベンチャと包括的戦略的パートナー契約を締結。 ISS運用における我が国の費用対効果を高めるため、新型宇宙ステーション補給機システムを計画。「こうのとり」よりもISSへの輸送能力を高める、射場作業の短縮、技術実証プラットフォーム機能を追加するなど、基本設計を完了。 「きぼう」利用の初の事業化例となる超小型衛星放出の事業者の公募を開始するとともに、外部有識(日本政策投資銀行(DBJ)、ベンチャーキャピタル等)も選定に加わる等、事業化に対応した選定の仕組みを新たに構築。 12月より金井宇宙飛行士がISSに滞在。 第62/63次ISS長期滞在搭乗員に星出宇宙飛行士が決定。 <p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 「きぼう」利用について、超小型衛星放出事業や船外ポート利用事業を民間に開放。 宇宙ステーション補給機「こうのとり」7号機(HTV7)による物資補給に成功。 HTV7において、大気圏再突入技術の実証やISSからの物資回収能力獲得を目指した小型回収カプセルを搭載し、ISSで得られた実験サンプルの回収に成功。 金井宇宙飛行士がISSへの第54次/55次長期滞在中に、「きぼう」を利用した実験や、船外活動等を実施。 					
定量的指標				単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
航空科学技術の研究開発における連携数(JAXAと企業等との共同/受託研究数)			実績値	%	53	69	63	-	-
			目標値	%	40	40	40	-	40
測定指標	政策評価	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)			
			航空分野の技術の国内外の標準化、基準の高度化への貢献				毎年度	施策の進捗状況(実績)	
<p>公正中立な立場から航空分野の技術の標準化、基準の高度化等へに貢献する取組を積極的に行う。</p>				<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際民間航空機関(ICAO)において、ソニックブーム基準に用いる評価指標の検討等へに貢献。 複合材試験評価技術に関し、日本工業規格(JIS)及び国際標準化機構(ISO)に規格・標準の提案を行うなど、国内外の標準化・基準化に貢献。 <p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ICAOにおける超音速機の騒音基準策定において、離着陸騒音推算ツールの相互検証を行うなど、基準策定検討に貢献。 複合材試験評価技術に関し、日本工業規格(JIS)及びISOに提案した規格が制定。 <p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 低ソニックブーム設計機体騒音低減量評価を行うなど、ICAOの基準策定検討に貢献。 複合材試験評価技術に関し、ISOに提案した規格が制定されるなど、国外の標準化・基準化に貢献。 航空機搭載型晴天乱気流装置に関し、国内メーカーの海外での標準化活動を支援。 					

定量的指標		実績値	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標		目標年度	
							-	年度	-	年度
大学・企業等との共同研究の件数		実績値	件	1,101	1,158	864	-	-	-	-
		目標値	件	500	500	500	500	500	500	500
定量的指標		実績値	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標		目標年度	
							-	年度	-	年度
技術移転(ライセンス供与)契約件数		実績値	件	324	352	372	-	-	-	-
		目標値	件	60	60	60	-	-	-	-
定量的指標		実績値	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標		目標年度	
							-	年度	-	年度
JAXAにおいて人材交流を行った数		実績値	人	720	723	696	-	-	-	-
		目標値	人	500	500	500	-	-	-	-
定性的指標	目標	目標年度		施策の進捗状況(目標)						
宇宙科学研究や宇宙探査のための衛星の開発・運用の進捗状況	宇宙科学・探査に必要な観測データを取得し、世界一級の研究成果の創出及びこれからの担う新しい学問分野の開拓に貢献する。	毎年度		-						
				施策の進捗状況(実績)						
				<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)をイプシロンロケット2号機で打ち上げ、定常運用を開始。 ・初期機能確認中に通信異常が発生したX線天文衛星「ひとみ」の代替機計画を立ち上げるとともに、再発防止のためのアクションプランを作成。 <p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界最小サイズのロケットSS-520ロケット5号機を打上げ、超小型衛星「TRICOM-1R」を所定の軌道に投入。 ・磁気圏尾部観測衛星(GEOTAIL)、太陽観測衛星「ひので」(SOLAR-B)、ジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)、金星探査機「あかつき」(PLANET-C)等の科学観測衛星運用を継続し、観測データを取得。 ・小惑星探査機「はやぶさ2」について、小惑星Ryuguに向けてイオンエンジンによる航行を実施。 <p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小惑星探査機「はやぶさ2」が、小惑星Ryuguに到着、世界初となる探査活動等を実施。 ・欧州宇宙機関(ESA)との国際協力による水星探査計画(BepiColombo)において開発した水星磁気圏探査機(みお)を搭載したロケットが打上げられ、水星への航行を開始。 						
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
基幹ロケットの着実な打上げ成功や宇宙科学・宇宙探査を目的とする様々な衛星・探査機の研究開発、運用による成果、航空科学技術における着実なプロジェクト推進、各種コンポーネントの開発、地球観測データ蓄積は、宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進に寄与する。										
新 経 済 ・ 財 政 再 生 計 画 改 革 工 程 表	取組事項	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 年度	30年度	31年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)を踏まえた取組であり、社会的ニーズの高い防災・災害対応技術の利用促進等を含むものであることから、優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	衛星、ロケット、航空機等に関する大型設備が必要かつリスクが高い研究開発を行うものであり、地方自治体、民間等に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)の実現に必要な取組であり、政策体系の中で優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において、支出先の選定に当たっては、宇宙開発の特殊性により、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	我が国の宇宙分野における自立性を確保することなどを目的に、国として実施すべき取組であり、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において使途・費目の精査を行って締結した契約に基づき、適切に取組が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中期目標に基づき策定された中期計画の履行に必要な取組を実施するために締結する契約に関して、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において契約時に使途・費目の精査を行っていることから、費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)では、成果報告書、技術資料、調達仕様書等、事業に係る様々な資料をJAXA技術文書として管理・共有することで、業務の標準化・効率化を図っている。 ・プロジェクトへの移行時に行うプロジェクト移行審査において、コスト評価を実施しており、効率的な事業遂行に努めている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価において、高い評価を受けており、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	宇宙・航空分野の研究開発は高度な専門性が必要であるため、その知見を有する国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)において実施することで実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込み通り又は当初見込みを上回る実績を概ね上げており、活動実績は見込みに見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価における「利用拡大のための総合的な取組」の項目において標準評価以上の評価を受けており、整備された施設や成果物は十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)における取組は、宇宙基本計画(平成28年4月1日閣議決定)の実現に必要な取組であり、これらの取組は、社会的ニーズの高い防災・災害対応技術の利用促進、宇宙産業の振興、宇宙科学等のフロンティアの開拓、宇宙産業関連基盤や宇宙科学技術基盤の維持・強化等に大きく貢献するものである。衛星利用分野においては、「だいち2号」(ALOS-2)の着実な運用を行って観測を継続するとともに、防災関係機関等へ「だいち2号」及び「だいち」アーカイブデータを提供することで、発災後の状況把握に加えて、異変の早期発見にも活用されるようになり、防災機関の意思決定プロセスに衛星観測が組み入れられるようになるなど顕著な成果を上げていく。また、宇宙環境利用分野においては、「高品質タンパク質結晶生成実験」において、有望かつ短期間で成果創出が期待できる機関との連携強化を推進し、新たな共同研究に着手するなど研究成果の最大化に向けた取組を着実に進めている。 ・契約については、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等により契約することとしている。また、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・上記成果が出ていることを踏まえ、今後も政府の宇宙開発利用全体を技術で支える中核機関として積極的に取組みを進める。 ・契約の競争性、公平性、透明性を確保する観点から、引き続き、競争契約に係る仕様書を受領した業者へのアンケート調査結果を踏まえた仕様書の要求事項の明確化、適切な履行期間の確保等の改善を行うとともに、電子入札システムや調達情報メール配信サービスの利用拡大に努めていく。 ・調達改善の結果を継続し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。
外部有識者の所見		
外部有識者による点検対象外		
行政事業レビュー推進チームの所見		
事業内容の一部改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点:この事業は、大学との共同等による宇宙科学に関する学術研究、宇宙科学技術に関する基礎研究及び宇宙に関する基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、追跡及び運用並びにこれらに関連する業務を、総合的かつ計画的に行うとともに、航空に関する先進技術及び基盤技術の研究開発並びにこれらに関連する業務を総合的に行うために、宇宙航空研究開発機構の運営に必要な交付金を交付するものであり、契約の競争性・公平性・透明性の確保の観点から検証を行った。 2. 所見:この事業は自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなど様々な取組を行っている点などは評価できるが、一部の契約において、一者応札・一者応募となっているものが見受けられるため、引き続き競争参加条件の見直しなど、より一層の契約の競争性の向上を図るべきである。 	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
執行等改善	<p>入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかを自己点検するとともに、結果として一者応札・応募となった場合は、審査プロセスとして事後点検を実施し、一者応札となった理由など改善に繋がる点(公告期間や競争参加資格といった競争参加条件など)をチェックシート等に反映し、更なる改善を図る。</p> <p>さらに、電子入札の登録促進、公告場所の拡充、公告件名の工夫、公告の予告の実施、入札情報配信サービスにおける配信の対象拡大等、一者応札・応募削減の取組を講じ、引き続き、競争性、公平性、透明性の確保を図っていく。</p>	
備考		
<p>また財務諸表及びその附属書類で作成している勘定・セグメント毎にシートを作成することで、国民へのわかりやすさを担保している。</p> <p>平成28年度の公開プロセスでは以下の評価、とりまとめコメントを受けた。 事業番号:0280「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費交付金に必要な経費」 評価:「事業内容の一部改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●契約監視委員会のあり方も含めて、契約過程の透明性の確保についてより一層努めるべきであり、文部科学省においても業績評価を通じて関与して頂くべき ●文部科学省においては、JAXAの研究開発について、特に費用や契約に関する情報が集まってくるように、文部科学省独自の努力を一層進めるべき ●契約価格の妥当性については、過去の履行実績を調査し、契約価格の妥当性も確認した上で、今後の適正な契約の履行に努めるべき <p>平成30年度予算執行調査では、以下の指摘を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間移管後のロケットの打上げサービス価格が高止まりしていることから、原因を検証し、開発中のH3ロケットの開発・運用にあたっては、どのように継続的価格低下を図り、国際競争力を維持するか、具体的見通しを示すべき。 ●参加企業が2者以上の調達の割合が低いいため、状況の改善を図るべき。 ●随意契約等の原価の積上げの妥当性について、データに基づく合理的な審査を行うため、単価の時系列データを蓄積するとともに、習熟効果を適切に見積価格に反映すべき。 <p>指摘の反映状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省としては、法人評価等を通じて、JAXAにおいて契約の透明性の確保等に係る取組が実施されているか確認している。 ・JAXAにおいては、競争促進のための取組として、一者応札・応募の改善策を実施している。例えば、平成29年度から、入札公告の充実として、離島、遠隔地の案件に関して、町役場への公告掲載を実施している。また、入札参加要件(参加事業者の業務実績の要件)の緩和についても現在検討している。 ・ロケット打上げサービスについて、平成27年度打上げ以降の特殊仕様分の見積原価の収集・蓄積を実施し、これらのデータを用いた見積原価の妥当性について検討している。 ・開発中のH3ロケットについては、システムの簡素化や民生部品の活用等によるコスト低減策に取り組みつつ、令和2年度の初号機打上げに向けて開発を進めている。 <p>※本事業は、平成27年度、「国際宇宙ステーション(ISS)開発に関する予算」として秋のレビューの対象となっているが、指摘事項、指摘の反映状況については「国際宇宙ステーション開発に必要な経費」(事業番号:0255)のシートに記載している。</p> <p>【支出先上位10者リスト】 ※落札率については同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表</p>		

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0330	平成23年度	0307	平成24年度	0324	平成25年度	0299
平成26年度	0293	平成27年度	0283	平成28年度	0280	平成29年度	286
平成30年度	文部科学省 (0291)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
130,694百万円

事業概要
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構に対し、その業務の財源に充てるために必要な経費を交付。

〔交付〕

【A】
国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
115,926百万円

※支出決定額を記載

法人において繰越しを行っているため、文部科学省の交付額と異なっている。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

【随意契約(その他)等】

【随意契約(公募)等】

【一般競争契約(最低価格)等】

【一般競争契約(最低価格)等】

【一般競争契約(最低価格)等】

【B】
宇宙政策の目標達成に向けた宇宙プロジェクトの実施

民間企業等
(1,386社)
75,424百万円

【C】
宇宙政策の目標達成に向けた分野横断的な研究開発等の取組

民間企業等
(998社)
15,293百万円

【D】
航空科学技術

民間企業等
(683社)
8,101百万円

【E】
宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組

民間企業等
(584社)
12,488百万円

【F】
法人共通

民間企業等
(208社)
4,620百万円

事業概要
・社会的ニーズの高い災害対応に資する衛星の研究開発等を推進するとともに、新たな利用の創出を図る「衛星による宇宙利用」
・宇宙空間へのアクセスを可能とする手段として、自立的な宇宙活動の根幹である「宇宙輸送システム」
・我が国の特徴を活かした独創的かつ先端的研究を推進するとともに、未知のフロンティアである宇宙の探査に挑戦する「宇宙科学・宇宙探査」
・国際宇宙ステーション(ISS)/日本実験棟「きぼう」を利用した「宇宙環境利用の推進」

事業概要
民間事業との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組、宇宙産業基盤・科学技術基盤の維持・強化を行う。

事業概要
民間では保有困難な大型・高性能の風洞施設等の試験設備を整備・供用し、航空科学技術に係る先端的・基盤的な研究開発を実施する。

事業概要
国際協力・海外展開の推進及び調査分析、国民の理解増進と次世代を担う人材育成への貢献、プロジェクトマネジメント及び安全・信頼性の確保、情報システムの活用と情報セキュリティの確保、施設及び設備に関する事項

事業概要
管理部門経費等

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構			B.三菱重工業(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務費	大学との共同等による宇宙科学に関する学術研究、宇宙科学技術に関する基礎研究及び宇宙に関する基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、追跡及び運用並びにこれらに関連する業務、航空に関する先進技術及び基盤技術の研究開発並びにこれらに関連する業務の実施	115,926	役務	H3ロケット 機体システム開発	9,589
	計		115,926	計		9,589
	C.株式会社IHIエアロスペース			D.(株)IHI		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	イプシロンロケット4号機の製作	3,116	役務	技術実証用ターボファンエンジン機装品の製作	226
	計		3,116	計		226
	E.(株)コスモテック			F.(株)スペースサービス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	種子島宇宙センター及び内之浦宇宙空間観測所施設保全運用作業	1,058	役務	資産管理業務	85	
計		1,058	計		85	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	9012405001241	大学との共同等による宇宙科学に関する学術研究、宇宙科学技術に関する基礎研究及び宇宙に関する基盤的研究開発並びに人工衛星等の開発、打上げ、追跡及び運用並びにこれらに関連する業務、航空に関する先進技術及び基盤技術の研究開発並びにこれらに関連する業務の実施	115,926	運営費交付金交付	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業(株)	8010401050387	H3ロケット機体システムの開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:平成26年度~令和3年度	9,589	その他	-	-	
2	三菱重工業(株)	8010401050387	H3ロケット用1段エンジン開発のエンジンシステムに関する作業を行う。 契約時契約方式【随意契約(公募)】契約期間:平成26年度~令和2年度	4,583	その他	-	-	
3	三菱重工業(株)	8010401050387	種子島宇宙センターにおける射点系設備の保全に係る作業を行う。	1,494	随意契約(その他)	-	-	
4	三菱重工業(株)	8010401050387	ロケット専用治工具等の保守及び維持に係る業務を行う。	713	随意契約(その他)	-	-	
5	三菱重工業(株)	8010401050387	H3ロケット用上段エンジンのエンジンシステムに関する作業を行う。 契約時契約方式【随意契約(公募)】契約期間:平成26年度~令和2年度	710	その他	-	-	

6	三菱重工業(株)	8010401050387	田代試験場における試験設備の維持及び点検を行う。	297	随意契約(その他)	-	-
7	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。	229	随意契約(その他)	-	-
8	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Bロケットに係る信頼性評価を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成27年度~平成30年度	206	その他	-	-
9	三菱重工業(株)	8010401050387	小型月着陸実証機(SLM)推進系(メインスラスター及びタンク)の開発契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:平成28年度~令和元年度	187	その他	-	-
10	三菱重工業(株)	8010401050387	イプシロンロケットの射点設備の保全に係る作業を行う。	120	随意契約(その他)	-	-
11	三菱重工業(株)	8010401050387	小動物飼育実験に係る運用技術支援および実験装置の再整備を行う。	103	随意契約(その他)	-	-
12	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成27年度~平成30年度	71	その他	-	-
13	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。	68	随意契約(その他)	-	-
14	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。	68	随意契約(その他)	-	-
15	三菱重工業(株)	8010401050387	X線分光撮像衛星に係るSXIおよびSXS-PSPの設計・製作・試験を行う。	65	随意契約(その他)	-	-
16	三菱重工業(株)	8010401050387	小動物飼育装置の運用性向上に係る検討および改修を行う。	54	随意契約(その他)	-	-
17	三菱重工業(株)	8010401050387	田代試験場における試験設備の維持及び点検を行う。	38	随意契約(その他)	-	-
18	三菱重工業(株)	8010401050387	小動物飼育装置の高機能化を行う。	34	随意契約(その他)	-	-
19	三菱重工業(株)	8010401050387	吉信燃焼試験テストスタンドにおける計測制御系の保全に係る作業を行う。	34	随意契約(その他)	-	-
20	三菱重工業(株)	8010401050387	イプシロンロケット発射装置の老朽化に係る更新・改修及び打上げ後の補修作業を行う。	25	随意契約(その他)	-	-
21	三菱重工業(株)	8010401050387	水星磁気圏探査機(MMO)射場作業支援(そのウ)契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成29年度~平成30年度	22	その他	-	-
22	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。	21	随意契約(その他)	-	-
23	三菱重工業(株)	8010401050387	先進光学衛星におけるH3ロケット適用に係るケーススタディを行う。	21	随意契約(その他)	-	-
24	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Bロケットに係る信頼性評価を行う。	20	随意契約(その他)	-	-
25	三菱重工業(株)	8010401050387	H-II Aロケットに係る信頼性評価を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成27年度~平成30年度	18	その他	-	-
26	三菱重工業(株)	8010401050387	月極域探査ローバ走行系の試作試験を行う。	17	随意契約(その他)	-	-
27	三菱重工業(株)	8010401050387	ロケット姿勢制御装置及び衛星姿勢制御装置の試験装置類の保守点検整備を行う。	17	随意契約(その他)	-	-

28	三菱重工業(株)	8010401050387	高空燃焼試験設備における計測系の特別点検作業を行う。	13	随意契約 (その他)	-	-	
29	三菱重工業(株)	8010401050387	超小型チップモジュールの実装率・歩留り向上の検討を行う。	11	随意契約 (その他)	-	-	
30	三菱重工業(株)	8010401050387	基幹ロケットにおける基幹・基盤技術の維持・向上に係る支援作業を行う。	11	随意契約 (その他)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケット4号機の製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成27年度~令和2年度	3,116	その他	-	-	
2	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケットにおける複数衛星打ち上げシステムの開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成28年度~平成30年度	120	その他	-	-	
3	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケット4号機における複数衛星搭載構造等の製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成29年度~平成30年度	119	その他	-	-	
4	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	LNGエンジンの性能向上に関する研究を行う。	80	随意契約 (公募)	-	-	
5	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	酸素製造・二酸化炭素還元の前実証モデルのスケールアップ改修を行う。	38	随意契約 (その他)	-	-	
6	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケット4号機の飛行安全解析を行う。	37	随意契約 (その他)	-	-	
7	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	革新衛星2号機搭載用HNP推進系を用いた低毒推進系モジュール開発に向けた準備及び検討を行う。	12	随意契約 (その他)	-	-	
8	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	高効率軽量レクテナアレイの検討を行う。	11	随意契約 (その他)	-	-	
9	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	成層圏無人機用マイクロ波無線電力伝送システムの受電部高出力化検討を行う。	10	随意契約 (その他)	-	-	
10	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	月探査機HERACLESの概念検討を行う。	4	随意契約 (公募)	-	-	
11	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	PAF239M用火工品の運搬を行う。	2	随意契約 (少額)	-	-	
12	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	複合材推進タンクの衛星搭載に向けた設計確認を行う。	2	随意契約 (その他)	-	-	
13	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	次期1kW級ホールスラストシステムの概念検討を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-	
14	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケットの維持設計を行う。	1	随意契約 (その他)	-	-	
15	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンロケット専用治工具等の保守・維持を行う。	1	随意契約 (その他)	-	-	
16	三菱重工業(株)	8010401050387	次世代宇宙用MPUの開発を行う。	441	随意契約 (その他)	-	-	
17	三菱重工業(株)	8010401050387	再使用ロケット実験機の機体システムに関する検討支援を行う。	40	随意契約 (その他)	-	-	
18	三菱重工業(株)	8010401050387	深宇宙探査技術実証機DESTINY+の概念設計を行う。	30	随意契約 (その他)	-	-	
19	三菱重工業(株)	8010401050387	再使用観測ロケット用技術実証エンジンの改良を行う。	26	随意契約 (その他)	-	-	

20	三菱重工業(株)	8010401050387	イプシロンロケット発射装置の老朽化に係る更新・改修及び打上げ後補修作業を行う。	20	随意契約 (その他)	-	-
21	三菱重工業(株)	8010401050387	1段再使用飛行実験の成立性検討を行う。	17	随意契約 (公募)	-	-
22	三菱重工業(株)	8010401050387	ロケット再突入データ取得システムの搭載に係る設計・製造を行う。	12	随意契約 (その他)	-	-
23	三菱重工業(株)	8010401050387	LE-9エンジンシステムの燃料メタン化の検討を行う。	8	随意契約 (その他)	-	-
24	三菱重工業(株)	8010401050387	エンジン燃焼試験業務における検証知分析手法の検討を行う。	7	随意契約 (その他)	-	-
25	三菱重工業(株)	8010401050387	再使用ロケット推進系バルブの整備を行う。	6	随意契約 (その他)	-	-
26	三菱重工業(株)	8010401050387	深宇宙探査技術実証機DESTINY+の軽量化検討を行う。	6	随意契約 (その他)	-	-
27	三菱重工業(株)	8010401050387	飛行制御検証業務における検証知分析手法の検討を行う。	5	随意契約 (その他)	-	-
28	三菱重工業(株)	8010401050387	月探査機HERACLESの概念検討を行う。	4	随意契約 (公募)	-	-
29	三菱重工業(株)	8010401050387	実験に用いる超音速燃焼器の設計を行う。	4	随意契約 (その他)	-	-
30	三菱重工業(株)	8010401050387	小型実証衛星2号機の概念設計を行う。	2	随意契約 (公募)	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)IHI	4010601031604	技術実証用ターボファンエンジン機体の製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成29年度~令和元年度	226	その他	-	-	
2	(株)IHI	4010601031604	技術実証用ターボファンエンジンの製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:平成28年度~令和元年度	192	その他	-	-	
3	(株)IHI	4010601031604	回転タービンリング実証試験用供試体の基本設計を行う。	46	随意契約 (その他)	-	-	
4	(株)IHI	4010601031604	タービン静翼構造試験体の製作を行う。	28	随意契約 (その他)	-	-	
5	(株)IHI	4010601031604	技術実証用ターボファンエンジン運用要領検討の支援作業を行う。	5	随意契約 (その他)	-	-	
6	(株)IHI	4010601031604	航空推進6号館における計測制御システムレイアウトの変更作業を行う。	4	随意契約 (その他)	-	-	
7	(株)コスモテック	7010001101987	空力技術研究ユニットにおける風洞運用業務を行う。	201	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
8	(株)コスモテック	7010001101987	調布航空宇宙センター管理業務(労働安全衛生・環境・高圧ガス)に関する支援作業を行う。	24	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
9	(株)コスモテック	7010001101987	SDRを使用した雷評定装置のハード設計製作を行う。	12	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
10	(株)コスモテック	7010001101987	高空性能試験設備の運用業務を行う。	8	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
11	(株)コスモテック	7010001101987	2次元風洞調圧弁油圧装置冷却系の交換作業を行う。	3	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
12	(株)コスモテック	7010001101987	高空性能試験設備における高圧・特別高圧受電設備点の検作作業を行う。	1	一般競争契約 (最低価格)	1	-	

13	(株)コスモテック	7010001101987	空力技術研究ユニットにおける執務室環境の整備作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
14	(株)コスモテック	7010001101987	高空性能試験設備における冷却水供給装置バルブの交換作業及び保温ラッキングの更新作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
15	(株)コスモテック	7010001101987	2m×2m遷音速風洞の計測装置更新に関する概念検討作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
16	(株)コスモテック	7010001101987	不要書類の運搬及び溶解作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
17	(株)コスモテック	7010001101987	リプレット効果検討用低乱風洞試験の支援業務を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
18	(株)コスモテック	7010001101987	リプレット効果検討用低乱風洞試験の支援業務を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
19	(株)コスモテック	7010001101987	物品移動及び防塵養生の作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
20	(株)コスモテック	7010001101987	詳細空力モデル作成用風洞試験模型スタビライザ効き等試験の支援を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-
21	(株)コスモテック	7010001101987	空力制御デバイス風洞試験の支援作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
22	(株)コスモテック	7010001101987	TRA2012A基本空力特性確認風洞試験の支援作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
23	(株)コスモテック	7010001101987	高エンタルピ風洞における高圧ガス設備の開放点検を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
24	(株)コスモテック	7010001101987	新分野開拓研究(模型飛行機を用いた実験)の実験支援を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
25	(株)コスモテック	7010001101987	低速域高揚力装置VG試験に伴う圧力計測用中継チューブの換装作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
26	(株)コスモテック	7010001101987	超音速風洞測定部下壁閉止蓋の着脱作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
27	(株)コスモテック	7010001101987	低乱風洞金網等の清掃を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-
28	株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング	3011101001775	回転要素試験設備における運転計測監視装置の更新を行う。	57	一般競争契約 (最低価格)	1	-
29	株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング	3011101001775	タービン回転試験設備における緊急停止装置の設計製作を行う。	51	一般競争契約 (最低価格)	1	-
30	株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング	3011101001775	タービン回転試験設備における中間駆動軸の設計製作を行う。	32	一般競争契約 (最低価格)	1	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)コスモテック	7010001101987	種子島宇宙センター及び内之浦宇宙空間観測所施設の保全運用作業を行う。	1,058	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
2	(株)コスモテック	7010001101987	筑波宇宙センター共通系施設設備等の保全運用作業を行う。	415	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
3	(株)コスモテック	7010001101987	地球観測センター共通系施設設備等の保全運用作業を行う。	38	一般競争契約 (最低価格)	2	-	
4	(株)コスモテック	7010001101987	鹿児島宇宙センター環境管理システムの運用支援業務を行う。 契約時契約方式【一般競争入札】契約期間：平成29年度～平成30年度	14	その他	-	-	
5	(株)コスモテック	7010001101987	角田宇宙センター燃焼試験系防火設備の保全作業を行う。	10	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
6	(株)コスモテック	7010001101987	角田宇宙センターの安全・環境・高圧ガス・セキュリティ及び施設系に係る業務を行う。	4	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
7	(株)コスモテック	7010001101987	内之浦宇宙空間観測所Mロケット組立室屋根の補修工事を行う。	2	随意契約 (少額)	-	-	
8	(株)コスモテック	7010001101987	宇宙通信所追跡管制棟の防水改修工事に伴う工事監理支援作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-	
9	(株)コスモテック	7010001101987	種子島宇宙センター大崎発電所発電機の冗長作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-	
10	(株)コスモテック	7010001101987	種子島宇宙センター第2衛星フェアリング組立棟空調システムの省エネ検証計測作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-	
11	(株)コスモテック	7010001101987	セキュリティ・情報化推進部執務室の個人用棚設置作業を行う。	1	随意契約 (少額)	-	-	
12	(株)コスモテック	7010001101987	筑波宇宙センター広報・情報棟見学案内執務室のコンセント増設作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
13	(株)コスモテック	7010001101987	調布航空宇宙センター廃棄電気製品の分解調査作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
14	(株)コスモテック	7010001101987	筑波宇宙センター特別公開開催に伴う傷害保険の調達を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
15	(株)コスモテック	7010001101987	不要となったキャビネットの搬送作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
16	(株)コスモテック	7010001101987	電話交換機室およびネットワーク制御室の分電盤の保安点検作業を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
17	株式会社JECC	2010001033475	JAXAスーパーコンピュータシステムの賃貸借を行う。 契約時契約方式【総合評価入札】契約期間：平成26年度～平成30年度	1,473	その他	-	-	
18	株式会社JECC	2010001033475	標準端末及びソフトウェア等の賃貸借を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
19	株式会社JECC	2010001033475	相模原キャンパスネットワーク整備・賃貸借を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	
20	株式会社JECC	2010001033475	部品プログラム支援用パソコンの賃貸借を行う。	0	随意契約 (少額)	-	-	

21	株式会社JECC	2010001033475	チーフエンジニア室B5モバイル端末(3台)の賃貸借を行う。	0	随意契約(少額)	-	-	
22	株式会社JECC	2010001033475	チーフエンジニア室B5モバイル端末(2台)の賃貸借を行う。	0	随意契約(少額)	-	-	
23	株式会社F-Power	2010701022133	調布航空宇宙センター・相模原キャンパスの電力供給を行う。	653	一般競争契約(最低価格)	4	-	
24	株式会社F-Power	2010701022133	相模原キャンパス電力の需給供給を行う。	86	一般競争契約(最低価格)	5	-	
25	株式会社F-Power	2010701022133	能代ロケット実験場電力の需給供給を行う。	6	一般競争契約(最低価格)	1	-	
26	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	筑波宇宙センター他2件の電力供給を行う。	692	一般競争契約(最低価格)	1	-	
27	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	あきる野実験施設の電力供給を行う。	2	随意契約(少額)	-	-	
28	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	野々塚コリメーションの電力供給を行う。	0	随意契約(少額)	-	-	
29	東京電力エナジーパートナー(株)	8010001166930	野々塚コリメーション取付道路の電力供給を行う。	0	随意契約(少額)	-	-	
30	KDDI(株)	9011101031552	JAXA共通情報システムに係る運用管理業務を行う。	299	一般競争契約(総合評価)	3	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	(株)スペースサービス	3010001089574	資産管理に係る業務を行う。	85	一般競争契約(最低価格)	1	-	
2	(株)スペースサービス	3010001089574	契約事務手続きに係る業務を行う。	74	一般競争契約(最低価格)	2	-	
3	(株)スペースサービス	3010001089574	契約事務手続きに係る業務を行う。	35	一般競争契約(最低価格)	1	-	
4	(株)スペースサービス	3010001089574	資産管理に係る業務を行う。	24	一般競争契約(最低価格)	1	-	
5	(株)スペースサービス	3010001089574	人事部安全・健康課の業務に係る事務支援を行う。	4	随意契約(企画競争)	1	-	
6	(株)スペースサービス	3010001089574	筑波財務課の業務に係る事務支援を行う。	4	随意契約(企画競争)	1	-	
7	(株)スペースサービス	3010001089574	種子島宇宙センターにおける契約業務の事務支援を行う。	3	随意契約(企画競争)	1	-	
8	(株)スペースサービス	3010001089574	種子島宇宙センターにおける契約業務の事務支援を行う。	3	随意契約(企画競争)	2	-	
9	(株)スペースサービス	3010001089574	種子島宇宙センターにおける契約業務の事務支援を行う。	3	随意契約(企画競争)	1	-	
10	株式会社マイムコミュニティ	7010701021816	関東地区等における借上宿舍の賃料	157	一般競争契約(最低価格)	2	-	
11	株式会社マイムコミュニティ	7010701021816	借上宿舍の管理に係る業務を行う。 契約時契約方式【一般競争入札】契約期間:平成29年度~令和4年度	3	その他	-	-	
12	株式会社ビジネスブレイン太田昭和	3010401088688	給与関連の業務を行う。	61	一般競争契約(総合評価)	1	-	
13	株式会社ビジネスブレイン太田昭和	3010401088688	人事院勧告に対応した給与に係る業務を行う。	1	随意契約(その他)	-	-	
14	アデコ(株)	8010401001563	社会保険等の業務に係る事務支援を行う。	5	随意契約(企画競争)	1	-	
15	アデコ(株)	8010401001563	筑波財務課の業務に係る事務支援を行う。	4	随意契約(企画競争)	1	-	

